

診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第30号／令和5年3月

URL <https://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田正憲



平素は当協会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、先日、東京で開催された「経営力再構築伴走支援シンポジウム」に参加してきました。

「経営力再構築伴走支援」は、一般的に言われる「伴走支援」とは「経営者と支援者が共に走る」という点は共通するものの、その意味することに異なる点があります。経営力再構築伴走支援は米国の心理学者E・シャイン氏が提唱した「プロセス・コンサルテーション」をベースとする支援手法で、対話と傾聴を基本的な支援姿勢とし、経営者の「自走化」のための内発的動機づけを行い「潜在力」「自己変革力」を引き出すものです。これは令和4年3月15日に経済産業省から公表された報告書「経営力伴走支援モデルの再構築について」において支援モデルとして示されました。

ところで、前述のシンポジウムで講演された南山大学の中村和彦氏のお話（一部）は以下の通りでした。大変参考になりました。

- 起こる問題や課題には「技術的問題」と「適応課題」がある（ハイフェッツ）。前者は既存の知識や技術を適切に使うことによって解決でき、問題は自分の外側にある。後者は既存の解決策がなく、既存の思考様式を変えて、行

動を変えることが必要で、問題の当事者である本人もその課題の一部である。

- 適応課題を技術的問題の解決法で対処することはできない。適応課題の解決にはプロセス・コンサルテーションが必要である。
- 支援者などが陥りやすい間違いは、適応課題を技術的問題の解決法で対処すること。中小企業では適応課題が多い（事業承継など）。
- E・シャインは人や組織への支援には、①専門家型：クライアントが必要としている情報や方法を提供したり実施する、②医師－患者型：クライアントの現状を把握するために、コンサルタントがデータ等をもとに診断して解決策を提案する、③プロセス・コンサルテーション型：クライアントが自らの状態に気づき、変革に向けた行動を自らが決めていく過程を支援する、の3つのタイプがあることを示した。

いかがでしょうか？中小企業診断士が提供する支援は上記のE・シャインが示す3つのタイプうち主に①と②なのではないでしょうか？伴走支援の在り方検討会の報告書には、変革を求められているのは中小企業者だけでなく、支援者も同じだとあります。経営環境変化のスピードと度合いは高まり、しかも不可逆的です。このような状況下で迅速かつ柔軟に対応するためには経営者の「自己変革力」が必要であり、それを支えるのが経営力再構築伴走支援です。

さて、新型コロナの5類への移行が政府決定されました。これに伴い、ウィズコロナに向けて中小企業診断士による経営支援がこれまで以上に求められるでしょう。経営支援の在り方を再確認し、中小企業の振興のために当協会の役割を果たしてまいります。

協会活動報告

新春講演会

総務委員会 岡田正博

去る1月28日、新潟グランドホテル常磐の間において、(本来であれば毎年恒例の)新春講演会(および新年会)が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で開催を取りやめておりましたが、今年久しぶりに開催できたことは喜ばしいことでした。29名の参加ということでは若干少なめではありましたが、今後再び参加者が増えていくことを期待しています。

今回の講演会では、日本銀行新潟支店長の小林俊様に「わが国の経済・物価情勢と金融政策」として、我が国ならびに新潟県の経済の現状や今後の見通しをお話しいただきました。

日本では経済成長率や失業率が米欧主要国とは違う動きをしており、物価上昇率は低いものの安定した経済環境が維持できているようです。

また、労働市場の二重性ということで非正規雇用比率が非常に高くなっていること、労働者の過不足D Iにおいては不足が過剰を大きく上回っていることなどが紹介され、今後の賃上げや待遇の改善が重要になることがよくわかりました。

新春講演会は、過去には支援機関や金融機関の方も来賓としてお声がけしたときもありましたが、今回はまだコロナ禍ということで会合を控えているところも多いと聞いていたため、会員のみを対象としました。来年は再び盛大に開催したいと考えております。



新年会

総務委員会 田邊 直樹

新春講演会終了後、場所を新潟グランドホテル波光の間に移動して、新年会が開催されました。

新型コロナウイルスの影響で開催を見送っていましたが、今回3年ぶりに開催することができました。お足元の悪い中、約20名の方々からご参加頂き、親睦を深めることができました。

参加者は新春講演会同様診断士協会会員のみでの開催でしたが、講演会にてご講演いただいた日本銀行新潟支店長の小林俊様にも参加していただきました。

今回、新年会の恒例行事である新入会員の紹介が行われました。開催できなかった年度の入会者を含め、布川夏輝さん、近藤幸男さん、小林満男さんからご登壇頂き自己紹介と抱負を語って頂きました。また、思わぬできごとがあり中締めを急遽、土田事務局長からご発声頂くなど、おおいに盛り上がることができました。

私自身もコロナ禍での入会のため、このような交流の場は、学びの場でもあり、大変貴重な会と考えております。また、初司会を経験させて頂き、中小企業診断士としての「話すスキル」を鍛える貴重な場となりました。

ご参加を見送られた方は、ぜひ次回の懇親会にご出席ください。



「11の専門家による無料相談会」参加報告

副会長 上村 修



昨年11月11日、県内の様々な士業の専門家による合同相談会「11の専門家による無料相談会」が開催され、当協会も参加しました。

朱鷺メッセの会場には9つのブースが設けられ、相談者の相談内容により、最適な士業の専門家が相談対応を行いました。相談内容が複数の専門分野にまたがる場合は、複数の士業の専門家が同席して、ワンストップでの相談対応を実施しました。

当日は、合計で約50名の相談者が来場され、各ブースで各士業からのアドバイスに相談者が熱心に耳を傾けていました。

当協会からは、3名の中小企業診断士(会員)が相談員として参加し、6件の相談に対応しました。いずれも、他士業の方との合同での対応となり、診断士単独での対応はありませんでしたが、他の士業の方々と共同で対応するという貴重な経験を積むことができました。

次年度も開催されると思われますので、ご興味のある方は、奮ってご参加頂きます様お願いいたします。

中小企業診断士を目指す人の情報交換サロン 実施報告

研修委員会 小山 直久



昨年度まで当協会にて主催していた「1次試験受験講座」を、「中小企業診断士を目指す人の情報交換サロン」と改称して、さらに裾野を広げる目的で開催することとなりました。

今年度においては2回開催され、現役診断士と受験生等が一同に会して、当協会診断士スピーカーによる話題提供をもとに、白熱した情報交換やネットワークづくりが行われました。

当日は、試験合格を目指す方々だけではなく、中小企業診断士の仕事内容や、経営者との対話の仕方等ご自身が日常業務での向学のためにご参加されるなど、多様な背景の参加者がお集まりいただいたことで、よりいっそう熱量が高まりました。

参加者によるアンケートでは、継続して開催して欲しいとの要望が多数あることから、次年度は年に3回程度を目途に開催する予定であります。

中小企業者の経営力向上への伴走支援者ネットワークを広げる礎となし、地域経済発展の契機となることに期待が見込まれます。

<第1回> 令和4年12月3日(土)

- ・スピーカー 土田正憲会長
- ・参加人数 23名
- ・テーマ内容 診断士の魅力、将来像



<第2回> 令和5年2月4日(土)

- ・スピーカー 田邊直樹先生
- ・参加人数 18名
- ・テーマ内容 魂の試験合格



委員会報告

事業開発委員会

委員長 和栗 聖



平素は、事業開発委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。令和4年度の事業開発委員会は、前年度から引き続き金融機関および中小企業支援期間との連携強化を

主な方針として、連携機関との協会会員専門家派遣運営管理を実施してまいりました。

次年度も引き続き、委員会活動を実施していきますので、我こそは次年度こそ事業開発委員で共に汗をかき活動したいという会員の皆様、まずはお気軽に私宛にご連絡をお待ちしております。

今年度の主な活動

1. 新潟県商工会連合会「令和4年度制度改正 専門家派遣及び令和3年度環境変化対応型事業」

新潟県商工会連合会様との業務提携の一環で、令和元年から稼働しております専門家派遣事業です。

2. けんしんビジネスパートナーシップ事業

新潟県信用組合様との業務提携の一環として平成28年度より稼働しております。

いずれも今年度は専門家として登録していただいた会員の皆様のご協力のもと、大きな成果を残すことができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。この場をお借りして、お礼申し上げます。

また商工会連合会様からは、次年度についても事業継続報告を受けております。

次年度も会員の皆様にご協力をお願いすると思われまますので、よろしく申し上げます。

クリップボード

- ◆5年5月27日(土)
定時社員総会 新潟グランドホテル
- ◆5年8月26日(土)
第1回 理論政策更新研修
新潟グランドホテル
- ◆5年9月9日(土)
第2回 理論政策更新研修
アトリウム長岡
- ◆5年11月14日(火)
中小企業診断士の日イベント
朱鷺メッセ

編集後記

広報委員会 長谷川 貴一

SOUP LETTER 第30号の発行にあたり執筆にご協力いただきました皆様、大変ありがとうございました。2012年のより毎年、継続して発行してきましたSOUP LETTERも第30号となりました。

さて、新型コロナ対応への世の中の動きが変化する中、対面での交流や飲食を伴う会合が多くなってきた方もいるのではないのでしょうか。2020年1月の新型コロナ国内確認以降、長らく、対面での交流の機会が減り、世の中の生活様式が変わり、人と人との繋がりや絆など、多くのものが失われた3年間でした。ひとり一人の生活や企業の状況もすぐには変わらないかもしれませんが、新型コロナの5類移行を契機に、これまで失われてきた交流の機会が増えていくことを切に願っています。

また、令和4年度最後のSOUP LETTER発行となりますが、様々な方の協力の上、本年度のSOUP LETTERは3度発行することができました。ご協力いただきました皆様に感謝を示し、本年度最後のSOUP LETTER 編集後記と致します。